

福島工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	異文化コミュニケーション入門	
科目基礎情報							
科目番号	0056			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義・演習			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	コミュニケーション情報学科 (H31年度開講分まで)			対象学年	4		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	指定しない						
担当教員	田淵 義英						
到達目標							
①文化の概念について理解し、説明することが出来る ②文化についての理論的フレームを理解し、考察を行うことが出来る ③異文化コミュニケーションについて、自分自身の考えを持つことが出来る							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	各授業項目の内容を理解し、応用できる。			各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (A) 学習・教育到達度目標 (B) 学習・教育到達度目標 (D) 学習・教育到達度目標 (F)							
教育方法等							
概要	異文化と接触する現場において生じる様々な問題について、自ら考え、行動するための知識と思考方法を学ぶ						
授業の進め方・方法	中間試験は実施しない。期末試験は50分の試験を実施する。なお、再試験は実施しないので注意すること。定期試験60%、課題40%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。課題は、鑑賞ノートおよびA4で3枚のレポートをそれぞれ2本課す。						
注意点	レポート課題をしっかりと提出すること。事前学習は必要ないが、ノートをしっかりとって復習をすること。再試験は実施しないので注意すること。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	導入		講義の目標、講義で求められる姿勢や課題、講義の進め方などを理解する。		
		2週	文化とはなにか		文化の概念について理解する		
		3週	文化の範囲		文化の複数性、重層性について理解する		
		4週	文化進化論		文化進化論について理解する		
		5週	文化相対主義		文化相対主義について理解する		
		6週	新進化論		新進化論について理解する		
		7週	マルクス主義		マルクス主義の文化理解を学ぶ		
		8週	構造主義		構造主義の文化理解を学ぶ		
	2ndQ	9週	事例 (1)		映画「Crash」		
		10週	事例解説		事例から、文化についてのどのような知見や解釈が得られるかを解説する		
		11週	コロニアリズムと文化		植民地主義／ポスト植民地主義文化の理論から文化を理解する		
		12週	事例 (2)		映画「アバター」		
		13週	事例解説		事例から、文化についてのどのような知見や解釈が得られるかを解説する		
		14週	試験対策		期末試験対策のための解説を行い、質問を受け付ける		
		15週	試験の返却と解説		前期期末試験解答用紙の返却と解説		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	40	0	0	0	0	100
基礎的能力	60	40	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0